

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第68回 ビジネス文書実務検定試験 (4.7.3)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

受験番号

第68回 ビジネス文書実務検定試験 (4.7.3)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

消費者の行動は、天候によって大きく影響を受けることがある。	30
そのため、気温や湿度、雨量などのデータを活用している企業が多い。	60
例えば、アイスクリームの製造業者は、気温が上昇して販売量が伸びると予想されるときに、CMを増やしている。	90
そこで、一部の気象事業者では、小売店を対象として商品需要の予測サービスを提供している。	115
数年分の天候と小売店の販売データをひも付けると、高い精度の予測ができる。	145
また、SNSに投稿された天気に関するコメントも分析し、予測に反映させている。	175
ある小売店では、このサービスを使い、店内で調理する商品の数を決めている。	205
これまでは、担当者の経験をもとに数を調整していたが、その加減が難しかった。	234
しかし、的確に判断できるようになり、売れ残りを減少させることに寄与した。	264
近年では、気候変動による環境への影響が指摘されている。	294
企業が気象データを活用することは、自社の利益だけでなく、廃棄物の削減に向けた取り組みにもつながる。	324
天候を予測して企業活動に生かすことは、これまでよりも重要となってくるだろう。	345
	375
	405
	435
	460